

**製品名: SCIN ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02578**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 80 kDa; Observed MW: 80 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SCIN
別名	Scinderin
遺伝子 ID	85477
SwissProt ID	Q9Y6U3
免疫原	ヒト SCIN の合成ペプチド

**背景**

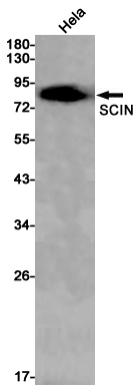
Ca<sup>2+</sup>依存性アクチンフィラメント切断タンパク質。細胞膜下のマイクロフィラメントネットワークの組織化に影響を及ぼすことで、エ

キッサイトーシスの調節機能を果たす (PubMed:8547642、PubMed:26365202)。切断活性はホスファチジルイノシトール 4,5-ビスリン酸 (PIP2) によって阻害される。in vitro では、Ca<sup>2+</sup>存在下でパーブエンドキャップおよび核形成活性も示す。巨核球の分化、成熟、倍数体化、および血小板様粒子の放出を伴うアポトーシスに必要である (PubMed:11568009)。破骨細胞形成 (OCG) および破骨細胞におけるアクチン細胞骨格の組織化に役割を果たす。軟骨細胞の増殖と分化を制御する。細胞増殖と腫瘍形成を阻害する。シグナル伝達は、MAPK、p38、および JNK 経路によって媒介されます (PubMed:11568009)。

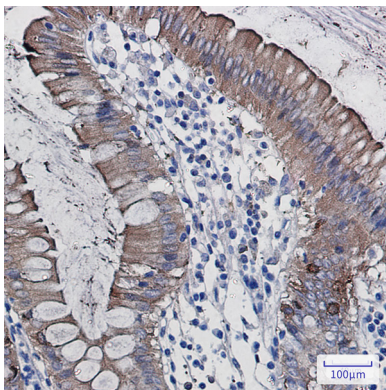
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



SCIN 抗体を使用した HeLa 溶解物中の SCIN のウェスタン ブロット分析。



SCIN 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。